

アカデミックフェス 事後レポート

企画名：明治大学のダイバーシティ&インクルージョンを考える
～学長宣言「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」～

企画名（英語）：Diversity and Inclusion on Campus of Meiji University
～President declaration of “Diversity and Inclusion on Campus”～

時 間：14：50～16：20

会 場：アカデミーコモン 2F ROOM-C（A2会議室）

登壇者：土屋 恵一郎 学長
鈴木 賢 法学部専任教授
横田 雅弘 国際日本学部専任教授
五十嵐 悠紀 総合数理学部専任准教授

開催概要：

明治大学におけるダイバーシティ&インクルージョンについて、3名のパネリスト（本学の教員）がそれぞれ、性の多様性、社会的マイノリティ及び男女共同参画の視点から発表及び討論を行うとともに、学長によるダイバーシティ&インクルージョン宣言の公表が行われた。

開催概要（英語）：

The three panelists, who are the professors of Meiji University, presented and discussed about diversity and inclusion in Meiji University from the viewpoint of sexual diversity, social minority and the gender equality. After that, President Tsuchiya declared Diversity and Inclusion.

開催内容：

初めに、コーディネーターの浜本から、本企画の趣旨について、ダイバーシティ&インクルージョンの実現は、学長方針にも掲げられているように、明治大学が目指す重要な課題の一つであること、本企画では、①明治大学におけるダイバーシティ&インクルージョンとは何か、②何が求められているのか、③学内でどのように共有し、社会に発信するのかについて、参加者とともに考えていきたいとの説明が行われた。

その後、鈴木教授、横田教授、五十嵐准教授の順に、それぞれ、性の多様性、社会的マイノリティ、及び男女共同参画の視点から発表が行われ、土屋恵一郎学長から「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」が公表された。

鈴木教授からは、「多様な性のあり方」というテーマで、特定の属性に当てはめられたスティグマに苦しめられている LGBT+, 異性愛者が自明である社会の中での生きづらさ、生きづらさは社会の構造に埋め込まれた差別や偏見によること等についての説明が行われた。その上で、構造化されたスティグマを壊そうとしている明治大学は、時代を変える最先端の大学として、多様な性のあり方を受け入れる制度を作るとともに、それを動かすしくみを作っていくことが、ダイバーシティ&インクルージョンをスローガンにとどまらず、学内で実質化していくために重要であろうとの考えが示された。

横田教授からは、「人を貸し出す図書館『Human Library』」というテーマで、2000年にデンマークで発祥した「Human Library」について説明が行われた。「Human Library」は、日頃、社会の中で偏見の目で見られやすい人たちが、自らの意思で「本」になって、「読者」に1対1で30分間貸し出されるというものであり、横田ゼミでは、学生が社会的マイノリティと対話することを通じて、ダイバーシティ&インクルージョンに向き合う姿勢を育み、また、自身の中にある多様性の認識をベースに社会の多様性を理解するためのダイバーシティ教育として実施しているとの紹介が行われた。

五十嵐准教授からは、「仕事と育児の両立における現実と期待する未来-制度だけではなく風土を作るために-」というテーマで、男女共同参画の視点から、本学における子育て中の教員のサポート制度や周囲の理解について、又、メディアを通じた学会参加経験や情報発信についても事例紹介が行われた。また、「さらによくするために」として、ライフイベント中の教員のサポート制度の提案と周囲の理解の促進についての考えが示された。

3人の発表後、土屋学長から、多様な価値観を受容し、共に学び共創する大学を目指し、学長宣言「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」が公表された。

質疑応答では、浜本から、ネガティブなイメージのある「マイノリティ」という言葉の使用について、また、女性教員比率の目標値設定について質問がなされた。横田教授からは、「マイノリティ」という言葉を腫れ物に触るような言葉にしないで向き合うことが大切、五十嵐教授からは、女性比率は目標値設定をしないと増えないのが現状ではないかとの応答があった。

最後に、浜本から、今後の明治大学のダイバーシティ&インクルージョン実現に向けた取組体制の紹介が行われ、多様な学生の受け入れ・支援、及び多様性を尊重・受容できる価値観をもった人材の育成の観点から、ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて全学的に取り組んでいきたいと締めくくられた。

以 上